

病防第77号

令和2年(2020年)10月23日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について(送付)

このことについて、発生予察特殊報第3号を発表しましたので送付します。

## 特 殊 報

令和2年度(2020年度)発生予察特殊報第3号

令和2年(2020年)10月23日

熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 クリバネアザミウマ(アミメアザミウマ亜科)
- 2 学 名 *Hercinothrips femoralis* (Reuter)
- 3 発生作物 ダリア(キク科)
- 4 発生確認の経過  
令和2年(2020年)7月、県内の施設栽培のダリアで、葉にかすり状の食害痕が発生し、当該被害葉上に黒褐色のアザミウマの寄生が確認された(図1、図2)。当該ほ場から虫体を採集し、農林水産省門司植物防疫所に同定を依頼した結果、県内での発生が未確認であったクリバネアザミウマであることが判明した。
- 5 国内の発生状況  
国内では平成4年頃から施設内での発生が報告されており、ディフェンバキア(静岡県:平成13年)、ピーマン・シシトウ(高知県:平成15年)、クワイ・アガパンサス(神奈川県:平成15年)、ナス(岡山県:平成16年)、ポトス・モンステラ(香川県:平成17年)、ミョウガ(埼玉県:平成18年)における発生が特殊報により報告されている。
- 6 形態及び生態等の特徴
  - (1) 形態  
雌成虫の体長は1.2~1.5mm。体の表面に細かい網目模様を有し、触角の末端2節は細長い尖節を形づくる(図3、図4)。体色は暗褐色であるが、頭部では複眼と単眼の間は黄色から茶色を呈す。前翅は褐色で基部と先端が淡色である。
  - (2) 生態  
本種は熱帯から温帯に分布しており、24℃での発育期間は24日とされている。国内では雄成虫は発見されておらず、雌成虫のみで単為生殖する。
  - (3) 被害  
葉を舂めるように吸汁加害し、葉に退緑斑点や排泄物によるスス状の汚れを発生させる。また、吸汁加害が進むと葉にかすり症状やえそ斑が生じる。

(4) 寄主植物

本種の寄主範囲は広く、海外ではアカザ科、アナナス科、イネ科、イラクサ科、ウコギ科、オオバコ科、カヤツリグサ科、キク科、キョウチクトウ科、コショウ科、サクラソウ科、サトイモ科、サボテン科、シソ科、ツユクサ科、ナス科、バショウ科、バラ科、ヒガンバナ科、ユリ科、ラン科で報告がある。

7 防除対策

- (1) 本種は各種殺虫剤に対する感受性が高いと考えられるため、アザミウマ類に登録のある薬剤により防除を行う。
- (2) 雑草等で繁殖する可能性があるため、ほ場内外の除草を行う。



図1 クリバネアザミウマ成虫



図2 ダリアの被害葉  
(退緑斑点・かすり症状)



図3 頭部の網目模様



図4 触角末端の尖節

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所  
( 農業研究センター 生産環境研究所 )  
病害虫研究室 予察指導係  
担当：丹、中村 TEL：096-248-6490